

11月　園だより(地域版)



社会福祉法人博愛福祉会　下牧こども園
℡：46-9381　Fax：46-9382

発行　令和８年１１月１日
文責　園長　山田

温かい拍手・応援・お言葉、ありがとうございました

第４８回　下牧こども園運動会

10 月 10 日（土）秋晴れの下、今年も保護者の皆様のご協力に支えられながら、下牧こども園らしい運動会を無事に実施することができました。「下牧こども園らしさ」を、観覧いただいた方のお言葉を借りて、振り返ってみます。

「一生懸命な姿や笑顔が微笑ましくて自分も楽しめた。和やかで温かい雰囲気がよかった。」



子どもたちが、運動会を頑張ることを純真に楽しむ笑顔がいっぱいでした。同時に、その姿にアドリブのコメントが弾む先生たちの楽し気な声です。これは、運動会が終わっても終わりません。

「心が洗われるようだった！」

「パン食い競争」に老若男女問わずほぼ全員参加の勢いでで盛り上がった景色に「現実の社会は、きびしさや醜さがある中で、参観者みんなであれだけの連帯感を生み出すこの親さんや地域の力をみていると、現実社会の中で汚れている私自身の心まで洗われるようでした。」と言ってくださいました。パン食い競争は、もはや下牧運動会名物です。パフォーマンスチームも健在でした。

「涙が出てくる！」



ここを見ていてくれた、ここに心を動かしてくれた、ここに下牧の良さを感じてくれた方がいたことには、「ありがたい。」という思いです。「発達の違いが大きい子どもたちをどう参加させるかをここまで考えて、仲間と一緒に参加できるように工夫してもらえていることに、下牧こども園の先生方の気持ちが伝わってきます。」とも言っていただけました。



ご来賓の皆様には、最後まで席を立たずにご観戦いただき、「元気をもらったので、私も頑張らないと。」「子どもたちの成長に感激！」等、たくさん声をかけていただいています。ご多用の中のご臨席に心より感謝申し上げます。

「更生保護女性の会」の読み聞かせ（９月１８日）



今回は久しぶりになかよし組が聞きました。ござを敷いてもらって、その上に行儀よくお山座りをして待っていてくれました。その姿を見たおばちゃんの第一声は「わー！こんなに大勢！」の言葉でした。年長さん（5人）を見慣れていたせいでしょうね。なかよし組さんは、挨拶も元気だから、余計に大勢に感じられたことでしょう。その子どもたちが予測好奇心を掻き立てるような絵本に、大きな声を出しながら楽しんでくれたことがうれしかったと話してくださいました。

秋晴れと「お芋」とニコニコ笑顔と土汚れ







ここはどこ？北海道ではありません。10 月 16 日（金）、中有知地区にある広大なサツマイモ畑に以上児みんなで芋ほりに行ってきました。秋晴れの青空を背に、先生の「芋ほりはじめ！」の合図で、両手だけをたよりに目の前の土を掘り返し始めました。しばらくすると「とれた！」「見て！」の声があちこちから。子どもたちが掘り起こしたお芋は、「お家へのお土産」「給食の食材」「子どもクッキング用」に分けています。型も色つやもいい紅はるかで、私も見ているだけで、つばが出てくるくらいです。シルバーの皆さん、お世話いただきありがとうございました。子どもも職員も大満足です。

「みんなで楽しもうお題リレー」（牧谷小学校運動会）に参加してきました

案内・プログラムを園に届けてくれたのは宗一郎さん。作成者は、胡花さん、さくらさん、和奈さんの３人。４人とも卒園生だと聞いたら、一段とうれしいものです。４人の年長児と職員３名で行きました。いよいよ最後のお題リレーになると、園児は手を握られて勇んで飛び出していきました。戻ってきたその顔はニコニコです。小学生の大きくて温かい手は、何よりも入学への安心と楽しみを贈ってくれたことでしょう。



